



目指す学校像	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
重点目標	1 文武両道—学力向上と特別活動等を両立させ、高い目標に果敢にチャレンジする生徒を育成する。 2 自己実現—様々な機会を通して視野を広めつつ、高い「志」を実現できる生徒・グローバルに活躍できる生徒を育成する。 3 情報発信—積極的に情報を発信して、生徒・保護者・地域等からの期待と信頼に応える学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○生徒全体の学力向上と特に上位層の高い志の維持を同時に実行する質の高い授業と体系的な指導を一層継続する必要がある。	自立した学習者の育成に向けた高度な授業内容の構築と指導方法の工夫改善	①入学当初から、学習法講座や卒業生講話を実施する。 ②継続的な補習や自主ゼミ指導、学習環境整備を通じ生徒の主体的学習の質と時間を確保させる。	①自主ゼミ・補講の開講状況及び参加状況 ②1・2年生の平日学習時間		
	○新入試や新学習指導要領への対応を継続して進める必要がある。	教職員一人一人が高い意識を持ち、新制度への対応や学校改善の方策を考え実行する。	①主体的対話的で深い学びにつながる学習を実践するなど、授業改善に取り組む。 ②校内組織の連携を密にすることで校内研修事業を充実発展させ、教職員の指導力向上を図る。	①「授業に関する生徒アンケート」結果 ②実施状況、意識の変化と活用状況		
2	○120年の伝統と歴史に育まれた校風の下、生徒は切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。	グローバルな視点を養う事業等を充実させ、生徒が高い志や目標にチャレンジする気概を育てる。	①本校の国際交流事業や県のリーダー育成推進事業等への参加を勧め、学校外の力も活用し生徒の意欲を高める。 ②「サイエンス探究事業」や「総合的な探究・学習の時間」において主体的な学びを実践する。	①参加生徒の事前事後研修への意識・意欲の変化と成果の全校生徒への還元 ②総合的な探究・学習の時間への生徒の意識・意欲の変化		
	○学習習慣の確立のため、家庭と情報共有しながら協力してきめ細かい進路指導を行う必要がある。	校内指導の体制を連動させて、高い次元での進路希望を実現させる。	①大学入試改革や次期学習指導要領等に向け、校内組織の間で情報共有を密に行い、有機的な対応を行う。 ②各学年の指導内容等の情報を共有するため、外部の説明会等へ積極的に参加する。	①模試分析、各事業での生徒・保護者・参加者によるアンケート結果 ②参加状況と情報の活用状況		
3	○本校の魅力伝えるため、機会をとらえ情報発信しているが、さらに効果的な広報が必要である。	本校の教育活動を積極的に情報発信し、生徒保護者地域社会等からの期待と信頼に応える。	①入試広報部を中心に学校説明会、進学フェア、土曜学校説明会等の広報を積極的に行い、行事を発展させる。 ②小学生向け説明会や科学教室等、地域連携事業を充実発展させる。	①学校案内やポスター内容の工夫やホームページ等の情報発信の工夫 ②土曜公開授業見学者人数およびアンケート結果		
	○生徒が安全・快適な学校生活を送れるようにするため、引き続き安心安全な学校づくりを一層進めていく必要がある。	学習・生活環境を一層整備し向上させる。	①校内の安全点検等通じ、危険箇所や破損施設の改善を迅速に行う。 ②緊急連絡システムの運用やホームページでの緊急連絡など、危機管理体制を構築し緊急時生徒用備蓄品を整備する。	①対応が必要な施設設備の改善状況 ②危機管理に関する意識の変化、緊急時生徒備蓄品の整備状況		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

